



発行日：平成 28 年 4 月 13 日

第 02397 号



まちなか美術館

CERAMIC MUSEUM

陶芸家・板谷波山をはじめ、全国的に有名な芸術家を数多く輩出している筑西市は、ゆかりの作家の作品を陶器製の板(セラミック)に焼付けてコンクリート製の躯体に設置し、駅前通りの歩道に展示したストリートファニチャーのひとつですが、このような手法で展示しているのは、全国的にも非常に珍しいものとなっています。

### 本日のプログラム

## ネパール訪問報告 新井会長・潮田会員

### 次週のプログラム

## 地区大会 (4月17日)



会長／新井和雄 副会長／関谷 徹 幹事／永井啓一 会長エレクト／早瀬浩一  
会報委員会 委員長／杉山イネ 副委員長／中里泰久 委員／武井宏樹・黒澤昌之



前例会報告 第2737回 2016/4/6(水)

## お客様 ようこそ下館RCへ

神保 正様(下館税務署長)

軽部 陽子様

## 会長挨拶 新井和雄会長

3月にネパールを訪問した際に、グローバルグラントを活用しての学校支援計画に調印しましたが、この度3292地区のDRFCとDGの承認、2820地区のDRFCとDGの承認を得ましたので、本日インターナショナルパートナークラブの代表者として下館RC会長の承認を行いました。近日中にTRFに送付される予定です。

3月30日の母子島クリーン作戦と花見例会には沢山のご参加ありがとうございました。地元旭ヶ丘の皆さん、ガールスカウト、筑西市、国土交通省のみなさんと、うらかな一日を楽しむことができました。咲き始めた桜の木を背景に居合道のご披露があり、普段例会会場では見られない永井幹事の一面に感動しました。関先生の演武を含め、当日の様子は筑西ケーブルテレビで数回放映され、茨城新聞のコラムに紹介されました。私のFBに動画もアップしておりますのでどうぞご覧ください。今満開です。

## 理事会報告 永井啓一幹事

下記3議案について承認されました。

1. 地区大会参加について  
日時 4/23(日) 8時集合出発  
場所 ノバホール 集合場所 筑西市役所
2. 4月プログラム承認の件について
3. 花見例会の決算報告 社会奉仕委員会

## 幹事報告 永井啓一幹事

下記6点にご報告いたします。

1. 真壁RCより、4/5から4/7いなみ旅館、4/12つくばイワサキ職場訪問、4/19休会等例会会場変更報告を受理しました。岩瀬RCより、4/6から4/7いなみ旅館、

- 4/17、5/4休会等例会会場変更報告書を受理しました。
2. ロータリー財団ニュースをガバナー事務所より受理しました。
3. ロータリーレート4月116円を受理。
4. ローターアクト 第4回会長幹事会、地区協議会 真壁伝承館開催
5. 米山梅吉記念館より、春季例大祭 4/23の案内受理

## ご挨拶 軽部陽子様

過日の主人軽部正紀の葬儀には大変お世話になり、また弔辞までいただきましてありがとうございました。遅くなってしまいましたがお礼にお伺いしました。1年2ヶ月の短い期間ではありましたが、主人は大変喜んでおりました。ありがとうございました。

## 外部卓話 神保正下館税務署長



ただいま皆様から多くのスマイルをいただき、また日頃の税務行政へのご理解ありがとうございます。ごぞいます。

私は何事にも全力を尽くしてしまう性格なものですから、30分という時間で話途中で終わってしまうのではと心配しております。時間まで全力投球しますので、よろしくお願いします。

### 1. 税の役割

我が国の予算は、急速な高齢化の進展による社会保関係費等の増大により歳出が伸び続けている一方、税収は伸び悩み、近年では歳入の半分を借金に依存せざるを得ない状況が恒常的に続いています。新規国債発行額が増加傾向にあり、その結果、国債残高は国際的にも歴史的にも類を見ない水準となっています。



平成27年度の国の予算をみると、その規模は約96兆3千億円となっています。歳入の主なものは「租税及び印紙収入」で約54兆5千億円が賄われ、日銀納付金などのその他収入と合わせて約59兆4千億円と歳入全体の約62%を占めており、残りの約38%は将来世代の負担となる「公債金収入」となっていて、いわば、国債を発行し借金をして賄っている状態となっています。

これに対し、歳出をみると、国債費として約23兆4千億円を充てていますが、返済した額の1.5倍以上の借金を新たにすることになるわけですから、国債の残高は増える一方ということになります。他に歳出の主なものとしては、社会保障費が31兆5千億円と全体の約3割を占め、次に多いのが、地方公共団体によって公共サービスに格差が生じないよう調整するために支出する地方交付税交付金等で、続いて、公共事業費、文教及び科学振興費、防衛費となっています。

我が国財政は歳出（税収）が歳入を上回る状況が続いており、特に平成20年以降、景気悪化に伴う税収の減少等により歳出と歳入の差額が拡大し、その差は借金である国債の発行によって賄われています。

なお、我が国の普通国債の残高は年々増加の一途をたどり、平成27年度末残高は807兆円に上ると見込まれており、これは、税収約15年分に相当し、将来世代に大きな負担を残すこととなります。更に、地方債務などの長期債務を加えると、なんと1,035兆円に達します。

また、我が国は、人口に占める高齢者の割合が増加する高齢化社会と、出生率の低下により若年者人口が減少する少子化が同時に進行する少子高齢化社会となっていることを背景に、社会保障給付金を始めとした社会保障費の増加は今後ますます拡大していくことになり、社会保障制度の持続可能性に与える影響は非常に深刻になってきています。

そこで、政府は、社会保障の安定財源確保と財政健全化を達成すべく、社会保障と税の一体改革に取り組み、同改革の下、今後も高齢化により増加する社会保障給付の負担について、消費税収を社会保障財源化することにより、将来

世代に負担を先送りせずに現世代で幅広く公平に負担を分かち合うことにし、平成24年3月、「社会保障と税の一体改革関連法」が公布されました。この「社会保障と税の一体改革」とは、日本の社会・経済情勢の変化に対応し、消費税をはじめとする税制抜本改革により、安心して持続可能な社会保障制度の実現を目指すことを目的にしています。

## 2. 税務署の仕事

我が国の税金は、納税者自らが、税務署へ所得などの申告を行なうことにより税額を確定させ、この確定した税額を納税者が自ら納付する「申告納税制度」を採用しています。この申告納税制度が適正に機能するためには、第一に納税者が高い納税意識を持ち、憲法・法律に定められた納税義務を自発的かつ適正に履行していただくことが必要です。そのため、国税庁では、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する。」を使命として掲げており、この使命を達成するために、国税庁の任務として「内国税の適正かつ公平な賦課及び徴収の実現」を掲げ、「納税環境の整備」と「適正・公平な税務行政の推進」を二つの柱として取り組んでいます。

税務行政の運営の考え方についてですが、国税庁の発足に重要な役割を果たしたハロルド・モス氏は、国税庁に一つのスローガンを贈りました。それが「正直者には尊敬的、悪徳者には畏怖的」であり、これには、適正に申告している納税者からは、国税庁は任務を全うしていると認められるように、反対に悪質な納税者からは、的確な調査を行う等で恐れられるようにといった、国税庁のあるべき姿が示されています。

国税庁では、納税者の方々が申告・納税を「簡単・便利・スムーズ」に行うことができるよう、様々な納税者サービスの充実を図っています。

特に、国税庁ホームページでは、申告・納税の手続などに関する情報を、誰もが容易に利用できるよう提供しており、特に、確定申告書等作成コーナーでは、パソコンの画面の案内に従って入力することにより、自動で計算を行い必要事項が記入された申告書等を作成することができます。



また、e-Taxを利用すれば、自宅やオフィス・税理士事務所などから、インターネットを利用して、申告、納税、申請・届出などができ、更に、あらかじめ預貯金口座の情報を記載した利用届出書を提出することで、届出をした預貯金口座からの振替によって納付できる大変便利なダイレクト納付も利用することができます。

最後に、社会保障・税番号制度への対応についてですが、この番号制度は、より公平な社会保障制度や税制の基盤であるとともに、情報化社会のインフラとして、国民の利便性の向上や行政の効率化に資するものとして導入されたものです。すでに、昨年、個人番号・法人番号の通知が発信され、平成28年1月から順次、社会保障、税、災害対策分野で利用が開始されています。国税庁では、この番号制度の導入を契機として、納税者利便の向上や所得把握の適正化・効率化に向けた検討を行うこととしています。

## スマイルBOX 武井宏樹委員長

**結婚記念** 佐藤 昭・百目鬼博行・中里泰久・永井啓一・中丸 健・永盛武・武井宏樹・加藤昌美さん

**パートナー誕生** 菊池祥明・百目鬼博行・関谷 徹・永井啓一・早瀬浩一・佐藤 昭さん

**会員誕生** 佐藤 昭さん



◆**軽部 陽子さん** 軽部正紀が大変お世話になりました。ありがとうございます。

◆**新井和雄さん** 下館税務署長 神保正さんの卓話を記念して。

◆**永井 啓一さん** 神保署長の卓話楽しみにしておりました。よろしくお願いします。

◆**日向野 陽さん** 下館税務署長 神保正様の卓話楽しみにしています。軽部正紀夫人ようこそいらっしゃいました。

◆**加藤 昌美さん** 下館税務署長 神保正様ようこそお出で戴きました。卓話楽しみです。

◆**新井 利平さん** 下館税務署長様、お忙しいところ卓話有難うございます。

◆**関谷 徹さん** 神保署長、卓話宜しく願いいたします。今月もニューモラルを配布させていただきます。

◆**鈴木 光則さん** 下館税務署長、本日の卓話よろしく願います。

◆**早瀬 浩一さん** 下館税務署長 神保正様ようこそおいで下さいました。卓話よろしく願い致します。

◆**岩崎 晴男さん** 下館税務署長 神保正様、本日は卓話ありがとうございます。

◆**佐藤 昭さん** 下館税務署長様よろしく願います。

◆**馬場 保さん** 神保税務署長様、卓話よろしく願います。

◆**潮田 武彦さん** 下館税務署長 神保正様、本日の卓話よろしく願います。

◆**鈴木 健一さん** 下館税務署長 神保正様ようこそ。卓話よろしく願います。

◆**島田 茂さん** 下館税務署 神保署長様、卓話楽しみにしております。

本日の合計 99,000 円  
累計 935,202 円

## 出席報告 中里泰久委員長

会員数	出席	欠席	病欠	免除
35	26	8	0	1

### ■メイクアップ

月日	メイクアップ場所・出席者	
3月30日	秦野名水RC	神山 芳子
3月31日	横浜東RC	神山 芳子
4月2日	東京池袋RAC	潮田 武彦

※発表をされた方は、発表内容をデータか紙にて会報委員会までご提出ください。

いつも会報発行のためご理解・ご協力をいただきましてありがとうございます。引き続き、今後ともよろしくお願い申し上げます。